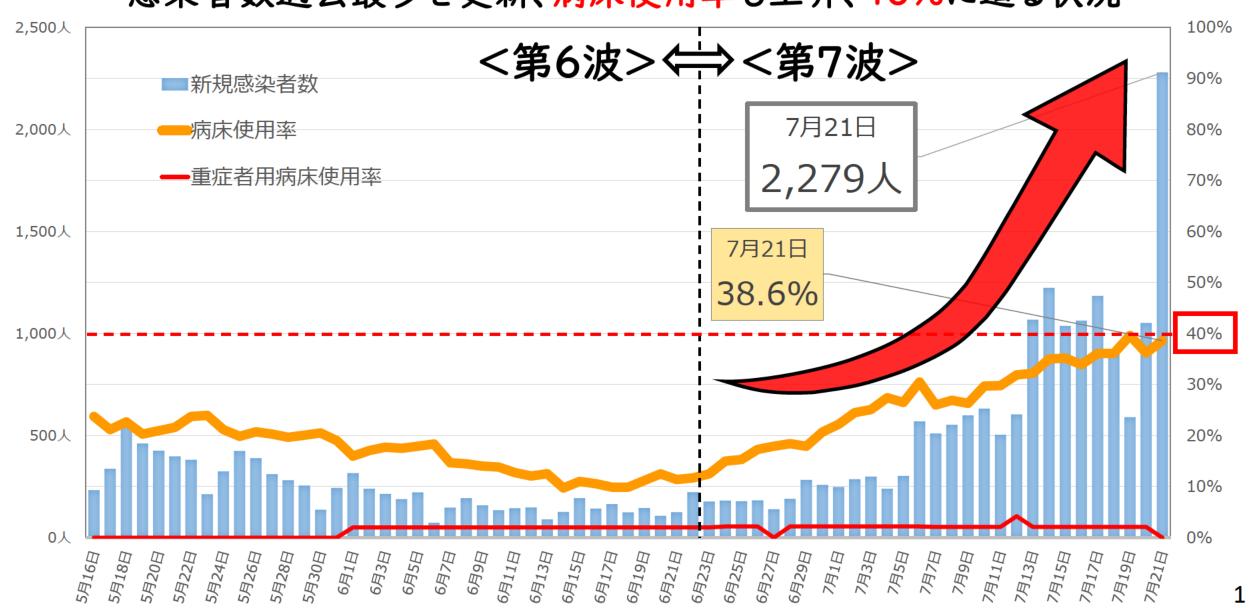
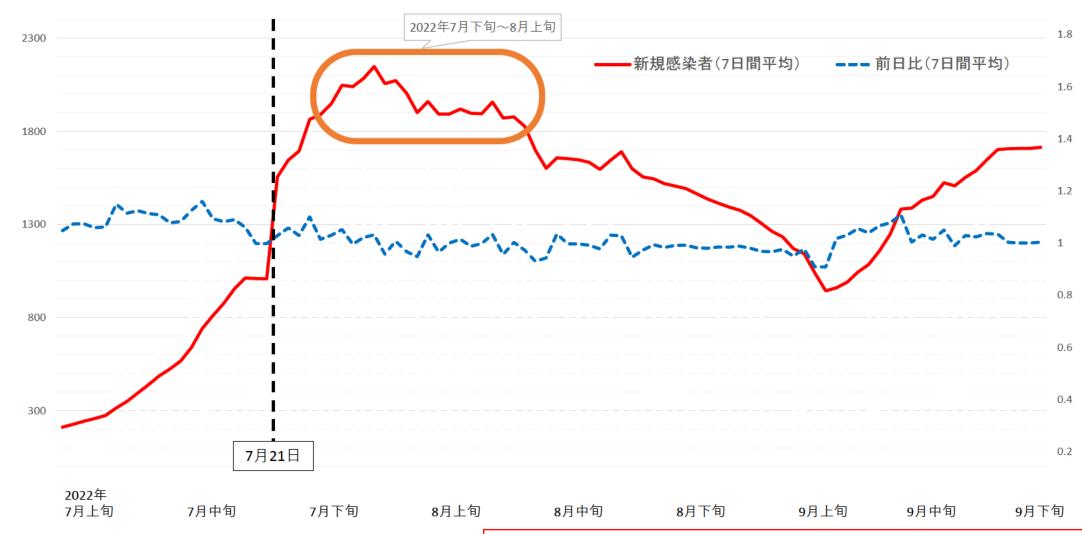
三重県 新型コロナウイルス感染症 感染状況

感染者数過去最多を更新、病床使用率も上昇、40%に迫る状況



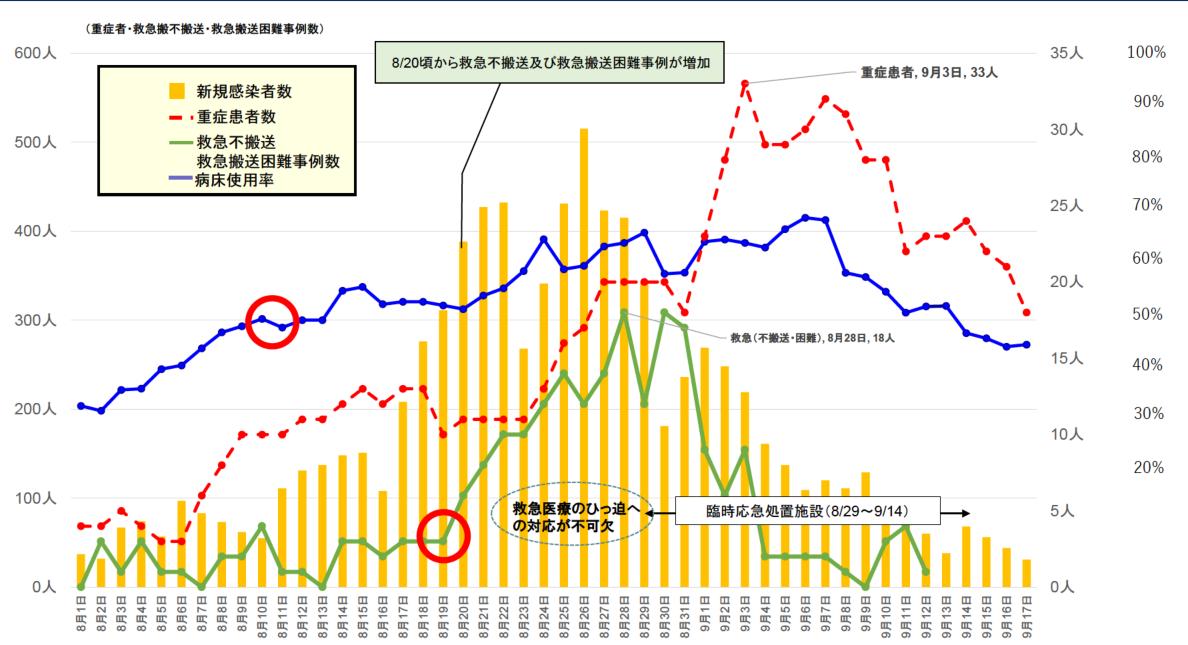
7月以降の感染動向の予想

◆7月21日以降は第6波の推移(第6波の対前日増減比等から予想値を算定)を参考とすると 8月上旬にかけてピークを迎える予想

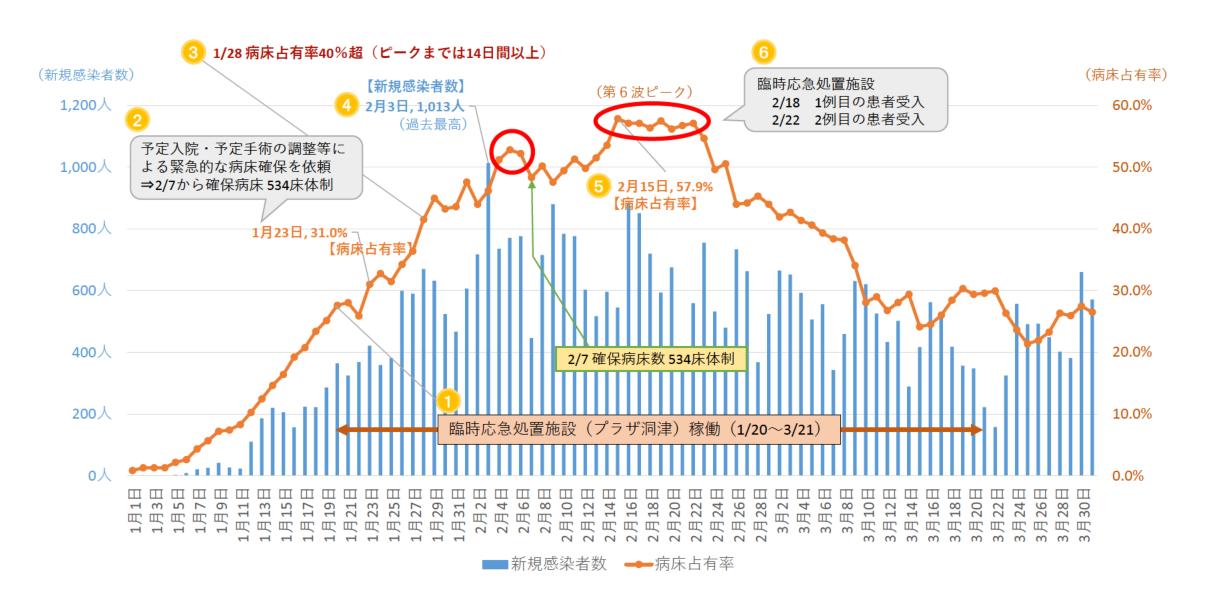


※7月21日以降は予想値であり、実際の感染動向とは異なります。

第5波における新規感染者数等の推移と救急困難事例の発生状況



第6波における新規感染者数等の推移と療養の状況



三重県



感染防止行動徹底アラート

令和4年7月21日

高齢者等に感染を拡げない

基本的な感染防止対策の徹底

みえコロナガード(MCG)に基づく対応

1.アラート等の設定

- ①感染防止行動徹底アラートの発出
- ②更に感染が拡大する場合は、対策を強化

2. 検査体制

- ①社会的検査の実施 (高齢者施設、小学校、保育所等の従事者への検査)
- ②感染の不安がある方等への検査 (薬局等での検査 登録実施拠点数207ヵ所)
- ③8月上旬から臨時検査拠点を設置予定(近鉄四日市駅、宇治山田駅で調整中)

みえコロナガード(MCG)に基づく対応

- 3.ワクチン接種体制
- ①市町の接種体制支援、県営接種会場の設置 (7/23四日市市総合体育館 7/30 四日市大学 8/6 県伊勢庁舎)
- ②県営接種会場の追加日程を検討
 - 4. 医療提供体制の整備
- ①病床使用率が40%に達した時点で以下の対応
 - ・緊急的な病床の確保(548床、うち重症者用病床56床)
 - ○臨時応急処置施設の開設(津市・プラザ洞津)
- ②宿泊療養施設(4施設496室)の運用

- ④高齢者施設等での感染拡大防止・医療支援の強化
 - ・陽性者が発生した場合の専用相談窓口(6/13~)
 - ・感染制御チームの体制強化(7/13~) (専門家34名登録 最大3チームを同時派遣)
 - ・施設内療養者への往診等の体制の構築(7/14~)
 - ○定員が多く大規模感染につながることが懸念される施設への集中的訪問等による検査の強い推奨 (7/25以降)
- ⑤保健所への応援体制 (応援職員リスト(約350名)による迅速な応援)

今後の宿泊療養の体制について

〇稼働中施設数

4施設496室(稼働率:約37%·184室 7月20日現在)

○想定必要室数※過去の実績から、平均入所期間を6日と想定

新規感染者数	必要室数	
1,500人規模	約240室	約40人/日×6日
2,000人規模	約300室	約50人/日×6日
2,500人規模	約360室	約60人/日×6日

〇今後の対応

- ・清掃期間短縮(3日→1日)等により<mark>稼働率向上</mark> 最大50%→<u>70%</u> 実対応可能室数:最大約250室→<u>約350室</u>
- ・使用室数が200室を超えた段階で、健康リスクの高い方が確実に入所できるよう入所者調整を重点化(最大120室)
- ・新規感染者数2,000人規模が続く場合、施設の追加確保に着手

県民の皆様へ



- 〇ワクチン接種機会の積極的活用
 - ・高齢者等の4回目、3回目まで未接種の方の接種
 - ・特に高齢者と同居している方や帰省等の場合
- 〇基本的な感染防止対策の徹底
 - ・会食の際の「マスク会食」・「黙食」の徹底
 - ・エアコン使用時も含め換気の徹底
- 〇高齢者等に拡げない
 - ・家庭内も含め高齢者等と会う場合のマスク着用
 - ・帰省の前の検査等

県民の皆様へ

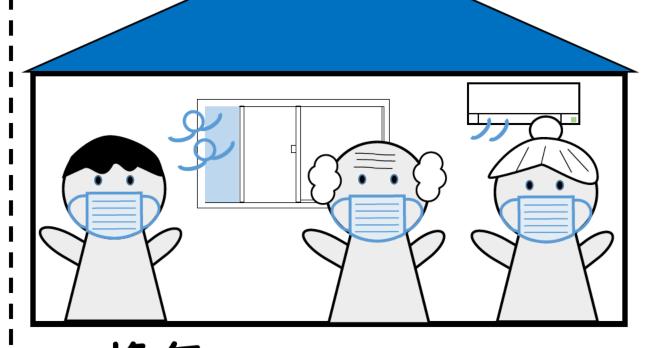




「マスク会食」

食べる·飲む時のみマスクを外す 話をする時にはマスク着用

高齢者等と会う場合には マスク着用



換気も実施(熱中症には注意)